

# 公民館かながわ



さむかわ中央公園と寒川総合体育館



さがみ縦貫道開通前ウォーキング

## 目次

県公連事業報告 生涯学習指導者研修「公民館担当者コース」	2
館長・公民館運営審議会委員等 研修会	4
第五十六回神奈川県公民館大会	5
サークル紹介 「中鶴会」 (中井町)	6
「ZAMAビッグ・バンドジャズオーケストラ」 (座間市)	7
わが館では 「横須賀市追浜コミュニティセンター」 「藤沢市立御所見公民館」	7
いざ、全国・関フロ大会開催へ	8
表紙写真解説 《春爛漫！寒川の桜》(寒川町)	8
編集後記	8

平成二十六年  
生涯学習指導者研修  
「公民館担当者コース」  
事業報告

平成二十六年度生涯学習「公民館担当者コース」が、五月二十一日から九月十二日までの間、計七回にわたり、「生涯学習・社会教育の地域拠点としての公民館のあり方と職員の能力の向上」をテーマに開催されました。

この研修は、県教育委員会と県公連との共催事業です。

今年の研修会の特徴は、二回目の課題研究編Ⅰを四つの教育事務所管内で行ったところです。研修を受けたのが、忙しくてなかなか丸一日職場を空けるのが難しい職員のために、半日日程とし、移動に時間がかからない近場の会場を選択して参加できるようにしました。また、毎回、情報交換の時間を持ち、近隣市町村職員との交流が図れるようにしたり、事例発表を通して、他館の事業などを知る機会を多くしたりしました。

延べ百五十五名の参加があり、どの回も、楽しみながら意欲的に話し合いに臨んでいる姿が見られました。

《第一回 基礎・実務編》

五月二十一日(水)

会場…かながわ県民センター  
参加者数…二十四名

○情報提供「『PLANNETかながわ』の紹介と活用法」

県立図書館生涯学習サポート課 主事 上村 大地氏

○講義「公民館の現代的課題〜震災後の公民館から構想する」

日本体育大学教授 上田 幸夫氏

○情報提供「第三次神奈川県子ども読書活動推進計画について」

県教育局生涯学習課社会教育グループリーダー兼社会教育主事 荻野 賢氏

○人権教育講話「磨こう！人権感覚」

県教育局行政課人権教育グループリーダー兼指導主事兼社会教育主事 西田 孝子氏

生涯学習課副主幹兼社会教育主事 古住 有美氏

○講義「県内公民館・県公連について」

県公連事務局長 瀬藤 仁志氏

《第二回 課題研究編Ⅰ》

A 六月四日(水)

会場…高相合同庁舎  
参加者数…二十名

○事例発表「団塊世代の居場所づくり〜おやじのたまり場事業に

ついて〜」

厚木市立森の里公民館主任兼社会教育主事 松前 純也氏

○事例発表「公民館という場〜利用者・参加者・職員〜」

大和市生涯学習センター林間学習センター主査兼社会教育主事 柳 幹子氏

○「先輩から学ぶ公民館事業」

県公民館連絡協議会副会長 夏井 美幸氏

B 六月二十日(金)

会場…平塚合同庁舎  
参加者数…十八名

○事例発表「伊勢原市の公民館活動について」

伊勢原市立成瀬公民館主査 秋山 喜則氏

○事例発表「伊勢原南公民館講座『生き生きみなみ塾』〜市民の学習意向を反映した講座づくり〜」

伊勢原市立伊勢原南公民館主事 後藤 純氏

○「先輩から学ぶ公民館事業」

座間市立東地区文化センター館長 植松 賢也氏

C 六月二十五日(水)

会場…藤沢合同庁舎  
参加者数…二十名

○事例発表「利用者とサークルに支えられる公民館活動」

茅ヶ崎市立香川公民館館長 小池 吉徳氏

○事例発表「地域への情報発信基地としての公民館」

茅ヶ崎市立鶴嶺公民館館長 長島 滋氏

○「先輩から学ぶ公民館事業」

横須賀市教育委員会生涯学習課課長補佐兼社会教育主事 高橋 直人氏

D 七月二日(水)

会場…足柄上合同庁舎  
参加者数…十九名

○事例発表「HAKONE大学について」

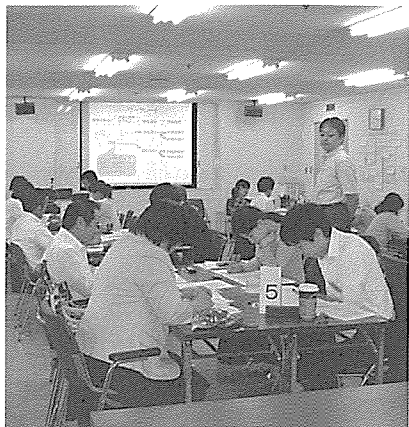
箱根町社会教育センター館長 鍵和田 和己氏

○事例発表「地域の自然・歴史を記録すること『フォトカルつくい』」

相模原市立津久井中央公民館広報委員 本山 芳郎氏他

○「先輩から学ぶ公民館事業」

県公民館連絡協議会会長 木下 敬之氏



《第三回 課題研究編Ⅱ》

七月十六日(水)

会場・かながわ県民センター

参加者数・二十七名

○講義「著作権よもやま話」

県立図書館地域情報課主査

白石 智彦氏

○講義と参加者交流「講座に即使える！アイスブレーキングの手法」

県湘南三浦教育事務所社会教育主事兼指導主事

河野 光志氏

○講義とワーク「チラシ・ポスター作成 デザインにおける10のポイント」

県民局広報県民課広報デザインアドバイザー

相馬 敏江氏

《第四回 課題研究編Ⅲ》

九月十二日(金)

会場・かながわ県民センター

参加者数・二十七名

○パネルディスカッション「今、公民館が一番やらなければならぬこととは？」

〔パネリスト〕

川崎市幸市民館館長

中村 高明氏

綾瀬市中央公民館社会教育主事

藤嶋 努氏

平塚市中央公民館主任兼社会教育主事

鶴田 晶子氏

〔コーディネーター〕

・県教育局生涯学習課専任主幹

額綱 仁志氏

○事例発表「相模原市立田名公民館の事業評価のあり方」

相模原市立田名公民館館長代理

長井 勝己氏

○講義とワーク「社会教育における事業評価の視点」

秋田大学准教授 原 義彦氏



研修後のアンケートでは、

・講義「公民館の現代的課題」震災後の公民館から構想する

「震災時に公民館が行っていくべき活動の内容や結果が分かりやすく理解できた。」「公民館のあり

方、運営の仕方が大きな岐路に立たされていると感じました。」

・各館の事例発表

「各自治体の公民館がどのように運営し、また成功や失敗談を聞くことができ、良かった。」

「同じ市内の公民館なのに知らないことが多かったので参考になった。」

・チラシ・ポスター作成 デザインにおける10のポイント

「チラシ作りはマンネリ化し、方向性を見失っていたのでとても参考になった。」

「自分の作っていたチラシはやってはいけないことが多く当てはまり、目からウロコでした。」

・パネルディスカッション

「全員参加の討論、発表の形式で多くの意見を聞くことができ、有意義だった。」

「単に講義を聞くのではなく、自分の考えをフリップに示したり、参加者同士で意見交換をしたりなど、新鮮でかつ有意義な時間だった。」

・社会教育における事業評価の視点

「これまで、目標設定があいまいだったことに気づきました。」

・情報交換

「仕事に対する楽しさや苦勞を共有し合え、有意義だった。」

「毎回いろいろな市町村のいろいろな方と話ができるので、今後も短くてもいいのでこの時間を取っていた

「この感想が出されました。最終回のパネルディスカッションでは、パネリストに話題を提供してもらいながら、『私にとつての公民館』『公民館が抱える現状・課題』『公民館に関わる職員として今、やらなければならぬこと・大切にしたいこと』について活発な意見交換ができました。最後のまとめでは、

・地域住民との交流を通して地域を知ること

・公民館を市民にとって利用しやすい場にする

・市民が自立して活動できるように促すのが私達の役目である

・社会教育・公民館の重要性を発信する

・館と地域の信頼関係をつくる

このようなことが大切だということを再認識して、明日からの職務に携わろうと、決意をあらたにしました。

本研修会のねらいは、知識やノウハウの習得にあることはもちろんですが、さらに、参加者相互の交流をとつた学びの中から、社会教育への意欲と意識を高め、幅広いネットワークをつくる場とすることも目的としています。来年度も、より多くの参加者で学び合えることを願っております。

(公民館経営・研修部会)

平成二十六年 度館長・公民館運営審議会委員等研修会

「公民館の原点復帰から地域力の向上支援と住民共同の推進を」  
 ～地域づくり・学び・ふれあいの拠点となる魅力ある公民館へ～

平成二十六年 度館長・公民館運営審議会委員等研修会を、十一月十一日（火）に秦野市立堀川公民館で開催しました。

今年度は、例年県教育委員会の社会教育主事に講師をお願いしていた人権講話を、公民館で人権学習に取り組み成人学級の事例報告にしました。直接学級を企画運営する住民（代表者）と、オプザーバーからの同和問題のお話しから、人権学習の意義を学びました。講演では、公民館の地域での役割や、公民館の運営に何が求められているのか、公民館の使命と今日的な目的について再確認していただくことを目的としたお話をしました。参加者一六三名

① 事例発表

「基本的人権について学ぶ」相模台公民館成人学級の試み  
 相模台公民館成人学級代表 原 裕子氏  
 部落解放同盟神奈川県連合会 執行委員長 三川 哲伸氏

はじめに原さんが、市民が事業の企画運営等を「委託」され開設している委託学級についてや、平成二十年度から準備委員会に携わり、成人学級のテーマに「基本的人権を考える」を選んだこと。翌年度から年ごとにサブテーマを決め、全八回の講座を実施していることや職員の間わりについてふれ、年度ごとの取り組みを紹介されました。

「公民館とは何か」から学び、教育が大切、地域の人が学び合え、支え合う、学んだことを地域に活かしていくと知り感動した。難しいと思ったことが、暮らしの中で生活と結びついていく。という言葉が印象的でした。

平成二十二年 度「差別による人権侵害」では、秦野市のほうらい会館へ現地研修で訪れ、三川さんに出会います。

次に三川さんが、中世からの部落差別の問題、特別措置法のもとでの同和対策事業、生活のなかで繰り返される部落差別事件の実態等について話されました。「世間からは過去の問題とされている

が、今も就職や結婚の身元調査や差別落書きがあり、差別意識がある。」という言葉に、差別意識をなくしていく大切さを強く感じました。

② 講演

「公民館が教育機関であるということ」生活から考える公民館  
 首都大学東京名誉教授 大串 隆吉氏



また、「公民館は、コミュニケーションセンターとどこが違うのか」という声もあるが、部屋貸しという共通した面もあるが、専門的な職員がいて事業を行うということが違う。学習することによって、地域が安定し、住みやすく、地域社会に還っていくもの。人間が賢くなる時には学習が必要。系統的に学ぶことを提供する機関があつて当然。相互教育の場として考えると、交流が生まれてくる特別な場である。」との言葉に勇気づけられました。

（公民館経営・研修部会）

公民館の設立の趣旨や社会教育法の用語の具体的な解説などを改めて聞き、参加者はじっくり再確認ができました。また、今日的な課題として、町田市の高齢者訪問活動から四十

第五十六回神奈川県公民館大会

テーマ「公民館の原点回帰から地域力の向上支援と住民協働の推進を」地域づくり・学び・ふれあいの拠点となる魅力ある公民館へ

平成二十七年一月二十三日（金）、山北町立生涯学習センターにおいて、県内公民館関係者、社会教育関係者など約二百五十名の参加のもと、第五十六回神奈川県公民館大会が、盛大に開催されました。

◆アトラクション  
開会に先立ち、山北町立生涯学習センターで活動されているコーラスグループ「みんなでハーモニー」によるコーラスが披露されました。

◆大会式典・表彰式  
式典は、参加者一同による『公民館の歌』の斉唱で始まり、木下会長と山北町教育委員会石田教育長の主催者あいさつ、各種表彰と

続き、山北町湯川町長、県教育委員会西村副局長兼生涯学習部長から御祝辞をいただきました。

○神奈川県公民館連絡協議会表彰  
【優良公民館表彰】

川崎市宮前市民館蒼生分館

相模原市立清新公民館

秦野市立西公民館

厚木市立睦合北公民館

厚木市立睦合西公民館

【永年勤続表彰】

萩原周子（川崎市生涯学習推進課）

村川小高

（川崎市高津市民館橋分館）

星 玲子（相模原市立小山公民館）

佐野淳子（相模原市立東林公民館）

関田弘子（相模原市立橋本公民館）

青山朋子（相模原市立田名公民館）

坂庭 京（相模原市立中央公民館）



渡辺孝夫（横須賀市生涯学習財団）  
柏倉梨沙（横須賀市生涯学習財団）  
見崎 巖  
（大和市林間学習センター）

◆事例発表

「郷土の歴史と手作り紙芝居」

やまきた拍子木の会

代表 滝本 小夜子氏

山北町の歴史や民話などを手作り紙芝居にして伝えている「やまきた拍子木の会」による活動報告と大型紙芝居の実演がありました。

タイトルは「ごてんばせんものがたり」。

かつて鉄道の町として栄えた「やまきた」の歴史を、迫力ある手作りの大型紙芝居を使って、わかりやすい絵と優しい語り口で演じ、会場は和やかな雰囲気になりました。

◆講演

「富士山宝永噴火と山北・神奈川県域」

駒澤大学副学長・文学部歴史学科日本史学専攻教授

久保田 昌希氏

山北町史編集委員として町史編纂事業に携わり、その後も町文化財行政に指導・助言をされている久保田教授によりご講演をいただきました。

◆会旗引継

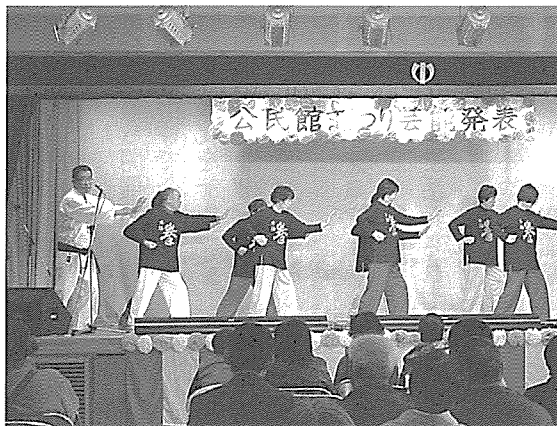
大会の最後、山北町教育委員会石田教育長から次期開催地の川崎市渡部生涯学習部長へと会旗が引き継がれました。（大会部会）



# サークル紹介

## 「中鶴会」

### 中井町立井ノ口公民館



私たち「中鶴会」は、平成八年に井ノ口公民館で行われた「楊名時氣功・太極拳」の講座に参加したメンバーが中心となり、講座終了後に会を発足させました。

会の名称の由来は、中井町の「中」と楊名時太極拳のシンボルマーク「鶴」から「中鶴会」としました。

発足から今年で十八年になります。当初会員数二十名程でした。現在十名で、毎週水曜日に講堂または和室で練習しております。

す。講師は入門講座から引き続きお願いし、毎回指導していただいております。

太極拳は、年齢・性別・体力を問わず習得できる健康増進法です。深く長い呼吸を行い、身体をゆっくり柔らかく動かし、意識・呼吸・動作が一つになることにより、経絡に沿って「氣」の流れが整ってきます。それにより、健康増進・転倒骨折予防・痴呆予防・美肌効果・失禁予防等数多くの効果があるとされています。毎年二月に開催されます当公民館を利用して活動している五十数サークルによる「公民館まつり」には、中鶴会も参加し、演舞することを目標にして楽しく練習を重ねております。

太極拳を通じて豊かな人生、健康で楽しく、そして「和」を大切にしてこれからも続けてまいります。(代表 小原義博)

## 『ZAMAビッグ・バンド ジャズオーケストラ』 座間市立東地区文化センター

座間市立東地区文化センター  
平成九年に座間市在住、在勤のジャズ愛好家を中心になって結成されたアマチュアビッグバンドです。

演奏活動として市内では文化センター・公民館等での各種イベント、福祉施設への慰問演奏、「ひまわりフェスタ」「各桜まつり」、「商店街のイベント」などがあります。

市外では「横濱ジャズプロムナード」、「厚木ジャズ祭り」、「大山サマージャズコンサート」、「仙台市・定禅寺ジャズフェス」などに出演をしています。



また、自主活動として、年一回の「定期コンサート」及び、年末に横浜元町クリフサイドで行なわれる「クリスマスジャズナイト」があり、定期コンサートでは約千名の観客が来場され、クリスマス

ジャズナイトは、老舗のダンスホールでディナーをいただきながら、クリスマススムード一杯のライブになります。

練習は東地区文化センターを中心に、月二回日曜日の夜に行っております。編成は十八人で二十代から七十代までと幅広い世代が和気あいあいと練習に、本番にと頑ばっています。

バンドのモットーは「和」と「感謝」です。練習の初めと終わりには、全員で起立し「ありがとうございました」と大きな声で挨拶をします。楽しく練習が出来ること、出来たことを、各人が皆に向かつて感謝の挨拶で表します。

今年九月二十七日(日)午後一時三十分から、ハーモニーホール座間大ホールで「第十八回定期コンサート」を開催します。第三回のコンサートからアマチュアでは珍しい「ファン倶楽部」がコンサートのお客様の中からの有志で結成され、力強い応援をいただいております。是非、お応援に来て下さい。

これからも地元を根ざした活動をしてまいります。

(代表 清水靖雄)

## わが館では…

### 『横須賀市追浜コミュニティセンター』

わが館は、横須賀市の一番北の追浜という地域に所在しており、すぐお隣は横浜市金沢区で三浦半島のつけ根の部分にあたります。この追浜地域は、「元氣な街追浜」をキャッチフレーズとして、地域活性化のために様々なイベントを実施するなど活発な活動を行っています。

わが館では、その地域のイベントと連携した事業を数多く実施しています。毎年十月中旬に実施される「Y・フェスタ追浜」ではハロウィンパレードが行われ、このハロウィンパレードに向けて、追浜観光大使「キキワン」によるハロウィン衣装作成講座を行い、パレードに自分で作った衣装で参加しています。

また、二月には約二千人が参加する追浜マラソン大会が行われます。この追浜マラソンでの完走を目標とした「チャレンジ講座」追浜マラソンを走ろう！マラソンを生涯スポーツに〜(全六回)を開催し、幅広い年代の皆さんにマラソンの楽しさを知ってもらいました。この講座は子育てママが

参加しやすいように託児も設けています。このように地域のイベントとコミセンの事業を関連づけ、より地域の皆さんにコミセンの存在を知ってもらおうとともに他地域へも発信していきたいと思っています。

わが館では、利用登録団体のサークル友の会の活動も活発で、毎年秋に開催する文化祭(追浜市民サロン)は、サークル友の会の自主運営となっており、昨年も延べ二千人もの方々が来場されました。

また、サークル友の会との共催イベントも数多く開催しており、「追浜ファミリーコンサート」、「レッツおっぱまダンスフェスタ」などをサークル友が中心となって企画・運営し、コミセンは広報などの支援を行っています。



これらのイベントは、商店会が追浜駅前に設置しているデジタルサイネージでも情報を発信しており、地域と良い連携が図れていると感じています。

### 『藤沢市立御所見公民館』

わが館では、昨年内初の事業となる「子ども職業体験 おしごと王国」を開催しました。

この「おしごと王国」は、子どもたちに働くことの意味や地域の産業について学んでもらうことを目的としたもので、当日は小学生八十名が参加しました。

参加した子ども達はまず「ハローワーク」で仕事を探します。御所見地域の地場産業でもある畜産や農業、パティシエや清掃業など全十八職種の中から自分のやりたい仕事を選んで働きます。労働後は館内で使える通貨で賃金を受け取り、稼いだお金は銀行に預けたりマーケットで買い物に使ったり出来ます。仕事を選ぶのもお金を使うのも、子ども達の自由意思を尊重しました。一つ一つの作業に真剣に取り組む子ども達の姿は大変印象的で、想像以上に働くことを真面目に捉えている様子を感じられました。また、稼いだお金を使わずに預金しようとする子どもも多くみられ、昨今の子ども達の堅実な経済感覚に触れることもできました。



した。

「おしごと王国」開催に当たっては地域の企業・商店など多くの方の惜しみない協力をいただきました。当初は不安も多くありましたが、どの事業者も企画を持ちかけるなりすぐに賛同していただきました。多忙であるにも関わらず、子ども達のために工夫を凝らし熱心な指導をしてくださいました。「子ども達の目がきらきら輝き、夢中になって働いている姿に感動した。」「次はもっと内容を充実させたい。」といった声も頂戴し、大きな成果を収めることができました。

準備段階から実施まで大変な部分もありますが、様々なイベントや地域活動を通して、人と人を繋げる役割を公民館として担っていきたいと思います。

いざ、全国・関ブロ大会開催へ

第三十八回全国公民館研究集会・第五十七回関東甲信越静公民館研究大会神奈川大会が、平成二十八年八月二十五日(木)から二十六日(金)にかけて、相模原市で開催されます。第一日目は相模女子大グリーンホールを会場に午後日程で全体会、第二日目は相模原市内九カ所の公民館等を会場に午前日程で分科会を行います。事例発表は九テーママ十八発表とし、神奈川県で八発表を担当します。

一月九日に第一回実行委員会が開催され、実行委員会が発足しましたので、委員を紹介します。(敬称略)

実行委員長 木下 敬之  
副実行委員長 花田 忠雄

顧問 小森 豊  
総務広報ブロック長 藤嶋 努  
副ブロック長 瀧 喜典  
副ブロック長 川崎 昭久  
副ブロック長 島田 欣一  
副ブロック長 秋山 喜則  
副ブロック長 米山 祐司  
分科会ブロック長 植松 賢也  
副ブロック長 藤原 広司  
副ブロック長 佐野 公宣

《各ブロックの構成市町》

総務広報ブロック

相模原市、川崎市、茅ヶ崎市、綾瀬市、愛川町、三浦市、※中井町、箱根町(二十七年年度)全体会ブロック

相模原市、川崎市、横須賀市、厚木市、伊勢原市、大井町、山北町

分科会ブロック

相模原市、平塚市、藤沢市、座間市、秦野市、大和市、寒川町  
平成二十七年年度からは県公連加盟市町全ての理事の方が実行委員となり、各委員の任期は、平成二十九年三月三十一日までとなります。当該委員が異動等した場合もは原則、同じ市町の後任者がその責を引き継ぐこととなります。  
評議員の方は拡大実行委員となり、大会当日の運営・準備をお願いします。

また、各ブロックの業務を円滑に進めるため、各市町村職員や公民館関係者の方にもブロックの業務に協力していただける体制を取っています。これから通常業務に加えて関ブロ大会の準備業務が生じてきます。関係者の皆様にご負担をおかけしますが、一致団結し、参加者を「おもてなし」して「参加して良かった」と言われるような神奈川らしい素晴らしい大会を皆で作っていきましょう。開催地である相模原市の皆様には、よりご負担をおかけします。が、よろしくお願いいたします。

《オプショナルツアーの企画・実践をしてみませんか》

自分の企画した公民館講座を大会のオプショナルツアーとして企画・実践をする人を募集しています。

○内容

神奈川県内の公民館関係者が相模原市内にある地域資源を教材にした公民館講座を企画し、二日目午後にはオプショナルツアーとして実施します。

○地域資源候補例

JAXA、尾崎聖堂記念館、青根公民館、シュタイナー学園、田名向原遺跡、柳原白蓮墓所等各地域資源

○応募先・問い合わせ先

県公民館連絡協議会事務局  
電話045121018347

平成二十七年総会の案内

○とき 平成二十七年五月二十二日(金)午後一時から

○ところ 横須賀市本町コミュニティセンター 横須賀市本町二一(総合福祉会館六階)

○交通 京急線汐入駅徒歩六分

○その他 館長・職員等研修会も同日に開催します。

編集後記

今号は、報告がぎっしりです。関ブロ大会のお知らせもあり、後記の余白がありません。(総務広報部会)

表紙

《春爛漫！寒川の桜》(寒川町)

春の桜の見頃を迎えると、さむかわ中央公園は、お花見の方々に賑わいます。

寒川町には他にも寒川神社参道・一之宮緑道などの桜の名所があり、桜めぐりにぜひ足を運んでいただきたいところです。

四月の第一日曜日には寒川神社の参道をスタートして町内中央部分をぐるりと巡り、さむかわ中央公園にゴールする観桜駅伝が開催され、健脚の選手達を桜吹雪が応援しています。

今年、三月八日に、長年待っていた、圏央道のさみ縦貫道が全線開通し、県内のみならず、東京、埼玉など関東の広い範囲とのアクセスがより便利になります。二月二十二日には、寒川北インターから海老名ジャンクションまでの開通を目前に真新しい高速道路をウォーキングするイベントも行われました。

寒川町は、JR相模線の駅が三駅あり、車でも電車でも利便性は比較的良好なところ。パワースポットの寒川神社、さむかわ中央公園の中には寒川総合体育館があります。地域の特産品としては、スイートピーや蘭、梨やメロンの栽培も盛んです。